

「お客さま本位の業務運営（フィナンシャル・デューティ）基本方針」	アクションプランの取組状況
<p>1. お客さま本位の業務運営に関する方針の策定・公表等（原則1）</p> <p>新潟信用金庫は、当金庫の基本方針、指針に基づいて、資産形成・資産運用における「お客さま本位の業務運営」を実践するため基本方針を制定いたしました。当金庫はこれを遵守し、行動することで、質の高い金融サービスをご提供いたします。</p> <p>この基本方針のもと、真にお客さまに役立つ商品や情報を提供し、取組み状況や成果を定期的に見直すことで、「お客さま本位の業務運営」を充実させてまいります。</p>	<p>新潟信用金庫は、2017年9月に公表しました「お客さま本位の業務運営基本方針」を、真にお客さまに役立つ業務運営の取組みをさらに一歩進めるために、2021年9月に見直しを実施しました。</p> <p>本方針は金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」の7つの原則を基に作成しております。</p> <p>アクションプランの取組状況に関しては、事業年度ごとに公表しております。</p>
<p>2. お客さまの最善の利益の追求（原則2）</p> <p>当金庫は、金融機関としての高い専門性と職業倫理をもって、お客さまの最善の利益を図るべく、適切な金融商品・サービスをお客さまにご理解いただける形でご提案するよう努めます。</p> <p>《アクションプラン》</p> <p style="text-align: center;">新潟しんきんの投資信託</p> <p>①お客さまの金融知識・投資経験・財産の状況やご意向をしっかりとお聞きしたうえで、誠実・公正な勧誘を心がけ、的確なアドバイスができるように研修等を通じて、職員の知識向上に努めます。</p> <p>②お客さまのライフステージに配慮し、「中長期的な資産形成に関するお考え」、「受け入れることができるリスクの種類や度合い」などを確認し、お客さまにふさわしい金融商品・サービスをご提案いたします。</p> <p>③お客さまの安定的な資産形成を図ることを最優先に、分散投資・長期投資、積立投資をお勧めし、中長期的な資産形成をサポートいたします。</p> <p>④金融商品の販売にあつては、定期的にアフターフォローを実施し、保有資産の状況確認や情報提供を行い、お客さまの最善の利益の追求に努めます。</p>	<p>①お客さまの最善の利益の実現状況を検証するため、「運用損益別顧客比率」、「投資信託預かり上位20銘柄の2022年3月時点のコスト・リターン/リスク・リターン」を公表しております。</p> <p>②マネープランリーダーを中心に分散投資、長期投資、積立投資の有効性および分配金の有無等の丁寧な説明やニーズの把握に努めて、お客さまの資産形成にとって最善の提案を実現できるように取り組んでおります。</p> <p>③お客さまから、より具体的かつタイムリーに金融商品内容をご理解いただけるよう、全ての渉外職員および窓口の情報系タブレット端末（ファンドインフォ）を導入し、サービスの充実と見える化の両立を実現しております。</p> <p>④ホームページ内の「新潟しんきんの投資信託」において、「ファンドリサーチ」機能の充実や、ファンド一覧に「お気に入り」機能を追加し、お客さまの個別管理ができるよう利便性を向上させました。また、スマートフォン画面でも見やすいようにシステム対応いたしました。</p> <p>⑤投資信託保有のお客さまアフターフォローとして、トータルリターンマイナス20%以上のファンドを保有のお客さまに保有投資信託の状況報告を実施いたしました。（2021年6月末状況での対象者を9月末までに、2021年12月末状況での対象者を3月末までに（上期2件・下期1件）年2回定期実施いたしました。）</p> <p>75歳以上で購入金額50万円以上のお客さまに、保有資産状況の説明、市場環境等情報提供を行いました。（2021年6月末状況での対象者を9月末までに、2021年12月末状況での対象者を3月末までに（上期31件・下期54件）年2回定期実施いたしました。）</p>
<p>3. 利益相反の適切な管理（原則3）</p> <p>当金庫は「利益相反管理方針」を策定・公表し、取引にあたり、お客さまの利益が不当に損なわれることのないように適切に管理してまいります。</p> <p>《アクションプラン》</p> <p style="text-align: center;">利益相反管理方針</p> <p>①お客さまの要望やニーズを踏まえた商品ラインナップを揃え、特定の投信会社や保険会社に偏った商品の提供はいたしません。当金庫と特別に親しい関係にある投信会社・保険会社はございません。</p> <p>②販売する投資信託・保険商品を選定する際には、一部の投信会社・保険会社に偏ることなく、お客さまの資産形成のお役に立てる商品選定を行います。</p> <p>③金融商品の提供会社から手数料等の支払いを受ける場合、お客さまとの直接的な利益相反に該当しないケースについても、これら手数料の多寡によってお客さまの利益が損なわれないように適切に管理してまいります。</p>	<p>①投資信託や保険商品の販売において、金融商品の提供会社から当金庫が受領する手数料等について、商品選定の際に利益相反の観点で適切なチェックを行っております。</p> <p>②現在ご案内している投資信託24ファンドのうち、信用金庫業界関連の運用会社である「しんきんアセットマネジメント投信」の提供銘柄は8ファンドに抑制したうえで、特定の運用会社に偏らず、お客さまニーズにお応えするために、適切公平に選定しております。</p> <p>③生命保険商品については、2社から1商品ずつ（計2商品）採用、取扱うこととし、お客さまニーズに合わせてご案内させていただいております。</p>
<p>4. 手数料等の明確化（原則4）</p> <p>当金庫は、お客さまが負担する手数料やその他費用について透明性を高め、その手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含めて、わかりやすくご説明いたします。</p> <p>《アクションプラン》</p> <p>①金融商品の販売にあたり、お客さまにご負担いただく手数料であるか、金融商品の提供会社から当金庫に支払われる手数料であるかにかかわらず、手数料の内容をわかりやすく説明し、お客さまが正しく投資判断を行えるような</p>	<p>①投資信託の販売手数料等は、販売用資料（ラインナップ表、手数料に関する書面等）やタブレット端末等を活用し、わかりやすく丁寧な説明に取り組んでおります。また、お客さまのご負担するその他の費用（信託報酬等）についても、</p>

<p>手数料の開示に努めます。</p> <p>②投資信託については、販売手数料の概算額を明示するとともに、信託報酬・信託財産留保額についても、契約締結前交付書面や目論見書、販売用資料等により、お客さまにわかりやすく説明いたします。</p> <p>*現在、当金庫では特定保険契約（変額年金・外貨建て商品）の販売は行っておりません。</p>	<p>契約締結前交付書面や目論見書、ラインナップ表、タブレット端末等を利用して丁寧な説明に努めております。</p>
<p>5. 重要な情報のわかりやすい提供（原則5）</p>	
<p>当金庫は、お客さまに金融商品に関する情報提供を行う場合には、手数料等に加え、金融商品の購入や各種サービスに関する重要な情報についても、お客さまの立場に立ったわかりやすい説明を行うように努めます。</p> <p>《アクションプラン》</p> <p>①重要な情報として、以下の内容を明示いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご提案する金融商品・サービスの基本的なリターン、リスクの大きさ、取引条件など ・ご提案する金融商品の組成者が販売対象と想定する購入層 ・ご提案する金融商品・サービスがお客さまにふさわしいものである理由、意向を踏まえたものである理由 <p>②金融商品・サービスの重要な情報については、お客さまの金融知識や取引経験、商品のリスクや複雑さに配慮したうえで、双方のコミュニケーションを大切に、明確、平易で、誤解を招くことのないように誠実な情報提供を行います。またご高齢のお客さまには、ご家族同席のうえじっくり時間をかけてご検討いただくことをお勧めいたします。</p> <p>③お客さまへの金融商品に関する情報の提供に際しては、販売用資料やパンフレット、タブレット等を利用して、同種の金融商品と比較することが容易となるように配慮した資料を用いて、よりわかりやすい説明をいたします。</p> <p>④お客さまに対して情報を提供する際には、情報を重要性に応じて区別し、より重要な情報については特に強調するなど、お客さまに注意を促して説明いたします。</p> <p>*現在、当金庫では特定の金融商品のパッケージ販売は行っておりません。</p> <p>*アクションプランの一部には、今後の提供を予定している「重要情報シート」の使用を前提とした内容を含みます。（2022年度より利用開始）</p>	<p>①金融商品・サービスの販売・推奨等にあたっては、手数料をはじめ、基本的なリターン、損失その他のリスク、取引条件等の重要な情報については、パンフレットやタブレット端末等を活用し、わかりやすく丁寧な説明を実施しております。</p> <p>②「重要な情報」は、投資信託では目論見書、目論見書補充書面を用い、保険業務では、契約締結前交付書面、パンフレット、設計書等を用いて説明を行い、「確認書」によりお客さまと共有させていただいております。</p> <p>③投資信託・生命保険ともに75歳以上のお客さまには、ご家族同席のもと、商品内容をご理解いただいた上での契約を原則としております。（ご家族が同席できない場合は、当金庫役席者が、ご契約時に同席させていただきます。）</p> <p>④複雑またはリスクの高い商品の販売・推奨を行う場合は、ラインナップ表、販売用資料やパンフレット、タブレット等を利用して、商品の特徴をお客さまが複数商品で比較しやすいように配慮した資料で、情報提供するように努めております。</p> <p>⑤お客さまに提供する情報は、タブレット端末等の内容の充実を図り、投資判断に必要な情報をわかりやすく説明いたします。専門用語を用いず、重要な情報については、お客さまの誤解、誤認を招かないような説明に努めております。</p> <p>⑥重要情報シート金融事業者編・個別商品編を作成し、2022年4月から契約締結前交付書面として利用を開始し、お客さまによりわかりやすい説明ができる体制を整備いたしました。</p>
<p>6. お客さまにふさわしいサービスの提供（原則6）</p>	
<p>当金庫は、お客さまの資産状況、取引経験、金融知識および取引目的・ご要望に合わせて、お客さまにふさわしい金融商品や各種サービスを提供してまいります。また、商品をご契約いただいたお客さまには、経済環境や市場動向を踏まえた適切でタイムリーな情報提供により、丁寧なアフターフォローを行います。</p> <p>《アクションプラン》</p> <p>①お客さまの投資目的やリスク許容度等に応じてお選びいただけるよう、幅広い商品ラインナップを整備いたします。</p> <p>②お客さまとの日頃のお取引を通じて得た情報やお客さまカード等により、お客さまの状況の把握に努め、お客さまのご要望に沿った、ふさわしい金融商品・サービスをご提供いたします。</p> <p>③金融商品・サービスのご提案は、当金庫の商品カテゴリーの枠に捉われず、類似商品・サービス内容と比較しながらわかりやすい説明を行います。</p> <p>④金融商品・サービスをご提供したお客さまには、経済環境や市場動向を踏まえた、適切でタイムリーな情報提供を行います。また、お客さまの意向に基づき、ライフプランや財産状況の変化に伴う運用資産割合の見直しなど、長期的な視点にも配慮した適切なアフターフォローを行います。</p> <p>⑤複雑またはリスクの高い金融商品のご提案を行う場合や、ご高齢のお客さまにご提案等を行う場合には、お客さまの資産状況、取引経験、金融知識および取引目的・ご要望に合わせて、ご提案が適切であるかをより慎重に判断いたします。</p> <p>⑥職員は取扱う金融商品・サービスに関する理解を深めるよう努めます。また、お客さま向けの各種セミナーを実施し、金融取引に関する基本的な知識を得られるための機会を積極的に提供してまいります。</p> <p>*現在、当金庫では特定の金融商品のパッケージ販売は行っておりません。</p> <p>*現在、当金庫では金融商品の組成を行っておりません。</p> <p>*アクションプランの一部には、今後の提供を予定している「重要情報シート」の使用を前提とした内容を含みます。（2022年度より利用開始）</p>	<p>①投資信託ラインナップ表につきましては、投資対象のカテゴリー別に区分し、各ファンドの概要・手数料等が一覧にて比較しやすいようわかりやすく作成しております。</p> <p>②N I S Aに関する税制優遇の特徴等、お客さまへの有益な提案を積極的に行い、お客さまにふさわしい商品を提案することに努めております。</p> <p>③お客さまの相続対策準備にお応えするため、信金中央金庫代理店として（有資格者212人）、「暦年信託こころのリボン」「相続信託こころのボタン」の取扱いを行っており、2021年度は14件99,400千円の信託金額をお預かりいたしました。</p> <p>④人生百年時代に備え、医療保険・がん保険・介護保険あんしんサポートプランに加えて「しんきんの介護保険」を第3分野商品ラインナップに加えしました。</p> <p>⑤事業所を経営するお客さまを取り巻く様々な賠償リスクに備えるために「事業性賠償責任保険ビジネス・プロテクター」を取り扱っております。</p> <p>⑥投資信託保有のお客さまへアフターフォローを実施いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トータルリターンマイナス20%以上のファンドを保有のお客さま（上期2件・下期1件）に保有投資信託の状況報告を実施しました。（2021年6月末状況での対象者を9月末までに、2021年12月末状況での対象者を3月末までに年2回定期実施いたしました。） ・75歳以上で購入金額50万円以上のお客さま（上期31件・下期54件）に、保有投資信託の状況報告を実施しました。（2021年6月末状況での対象者を9月末までに、2021年12月末状況での対象者を3月末までに年2回定期実施いたしました。） ・現状確認だけでなく、課題やご要望をお伺いして、お客さまが真に求める最適な商品・サービスの提供に活かしております。

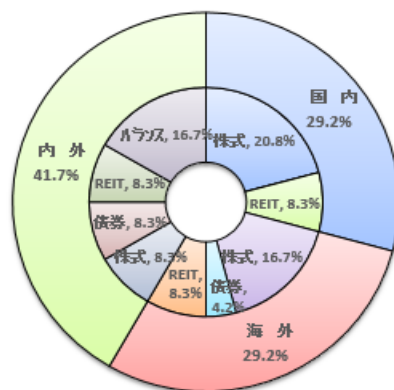
	<p>・米国金融政策見直し、ウクライナ紛争の地政学リスクにより、世界的に景気減速懸念が広がったことから、2月終盤から3月にかけてトータルリターンマイナス20%以上のファンドを保有のお客さま56件に、市場状況の緊急アフターフォローをいたしました。</p> <p>⑦セカンドオピニオンサービスとして、お客さまからのご依頼に基づき、FP資格を有した職員による他社・他代理店契約26件の生命保険内容の分析・解説を実施いたしました。</p> <p>⑧「新潟市がん予防促進連携企業」として当金庫ご契約者さまに（医療保険1,009名、がん保険596名）、各保険会社郵送「ご契約内容の確認」に合わせて、アフターフォローコール・対面方式で最新の医療情報・保険情報をご案内いたしました。（医療保険89件・がん保険30件の新契約への切替えを実施）</p> <p>アフラック社と提携し4店舗ロビーで「がんを知る展」を開催いたしました。</p> <p>⑨はじめてお取引されるお客さまや高齢のお客さまについては、勧誘開始基準（お客さまカード・コンプライアンスチェック表）に則して、より慎重に販売・推奨を行いました。75歳以上のお客さまは、ご家族または当金庫役員が同席するルールを定め、本部にて確認しております。</p> <p>⑩コロナ禍で中止しておりますが、お客さまへのお役立ち情報のご提供として「投資信託キホンのキ」をテーマにしたセミナー等を開催し、投資の有効性を幅広い年代のお客さまに提供してまいります。</p> <p>⑪お客さまニーズの多様化に対応するため、2022年5月から取扱いを開始する「海外インデックス型：1ファンド」「環境・AI等テーマ型：4ファンド」の商品内容およびコンプライアンスに関する職員向け研修を実施いたしました。</p>
<p>7. 職員に対する適切な動機づけの枠組み等（原則7）</p>	
<p>職員一人ひとりがこの基本方針に基づき、お客さまの最善の利益の追求を第一に考えて行動するよう、研修の実施や資格取得の奨励等を通じて、専門知識やスキルの向上に努めます。また、職員に対する適切な動機づけを図るための業績評価体系を整備してまいります。</p> <p>《アクションプラン》</p> <p>①基本方針、アクションプランを職員に周知し、浸透を図ります。</p> <p>②職員のコンプライアンスや利益相反に関する知識と意識を高めるために、研修の実施や資格取得の奨励を行います。</p> <p>③お客さまが真に求める適切な金融商品・サービスを提供できる職員を育成するために、各職員のスキルに応じた研修の実施や資格取得の奨励を行います。</p> <p>④お客さまが感動・満足していただいた事例を共有し、お客さまの課題解決への意識醸成を図ってまいります。</p>	<p>①投資信託販売会社・保険会社によるリモート研修を開催し、最新の業界動向を確認したほか、コンプライアンス研修を実施いたしました。（マネープランリーダー会議3回、商品改定・関連規定変更に合わせて6回）</p> <p>②お客さまへ適切・的確なアドバイスができるように、銀行業務検定（投資信託3級）の取得（現在132名）、ファイナンシャルプランニング技能士の資格取得を奨励し、専門知識習得に努めております。（FP資格者 現在172名）</p> <p>③「お客さまの声」をワンストップで反映するため、各営業店にマネープランリーダーを配置し、情報を一元化する専任部署を営業統括部内に設けております。主幹部署である営業統括部に2022年3月の人事異動でマネーアドバイザー2名を増員し、窓口販売・お客さまフォロー体制を強化いたしました。</p> <p>④本部、営業店間の情報共有を図るため、営業店に対して臨店訪問による個別研修を各店2回行い、全営業店に対してリモート形式の研修・セミナーを6回実施いたしました。また金庫イントラネット内に、職員が自主的に自己啓発に利用できる研修用「ライブラリ」を設けました。</p> <p>⑤2021年度は投資信託・保険関連の最新情報やお客さまへのお役立ち情報、金融商品販売に際してお客さまの満足度が高かったと思われる事例等を「なじらね通信」として12回、事務改善を目的とした「えいすいだより」を8回 職員向けに発信いたしました。</p> <p>⑥投資信託販売、保険契約の実績評価は、お客さまに最も適した商品をお勧めできるように、手数料金額による評価ではなく、契約件数、契約金額による評価としております。</p>

お客さま本位の業務運営基本方針に関する取組状況（資料編）

（2022年3月末現在）

1. 投資信託ラインナップ

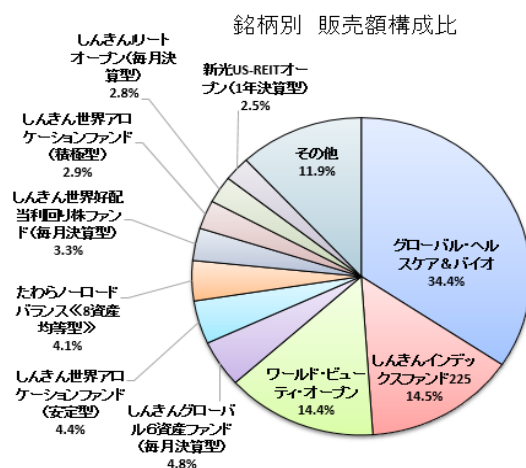
投資対象資産分類	取扱商品数	構成比	毎月分配型商品数	つみたてNISA商品数
国内	7	29.2%	1	2
株式	5	20.8%	0	2
債券	0	0.0%	0	0
REIT	2	8.3%	1	0
海外	7	29.2%	3	3
株式	4	16.7%	1	3
債券	1	4.2%	1	0
REIT	2	8.3%	1	0
内外	10	41.7%	3	1
株式	2	8.3%	0	0
債券	2	8.3%	1	0
REIT	2	8.3%	1	0
複合(バランス)	4	16.7%	1	1
合計	24	100.0%	7	6
うちノーロード	7	29.2%	0	6



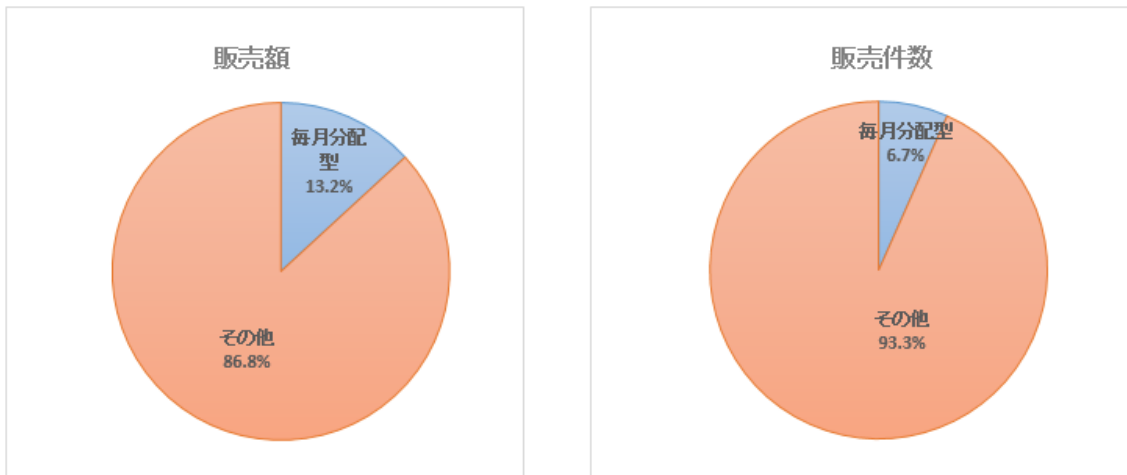
2. 投資信託の取扱状況～販売上位10銘柄

順位	対象資産	商品名	運用会社	決算頻度	販売額(千円)	販売件数	販売手数料(税込)
1	内外株式	グローバル・ヘルスケア&バイオ	三菱UFJ国際投信	年2回	288,372	753	3.30%
2	国内株式	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント外投信	年1回	121,757	2,188	なし
3	内外株式	ワールド・ビューティ・オープン	三菱UFJ国際投信	年2回	120,975	380	3.30%
4	内外バランス	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント外投信	毎月	39,983	1,212	2.20%
5	内外バランス	しんきん世界アロケーションファンド(安定型)	しんきんアセットマネジメント外投信	年1回	36,997	1,981	1.65%
6	内外バランス	たわらノーロード バランス《6資産均等型》	アセットマネジメントOne	年1回	34,282	1,138	なし
7	海外株式	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント外投信	毎月	27,685	524	2.75%
8	内外バランス	しんきん世界アロケーションファンド(積極型)	しんきんアセットマネジメント外投信	年1回	24,601	605	1.65%
9	国内REIT	しんきんリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント外投信	毎月	23,162	839	2.20%
10	海外REIT	新光US-REITオープン(1年決算型)	アセットマネジメントOne	年1回	20,914	142	2.75%
—	その他	その他		—	99,789	2,915	
(合計)					838,517	12,677	2.36%

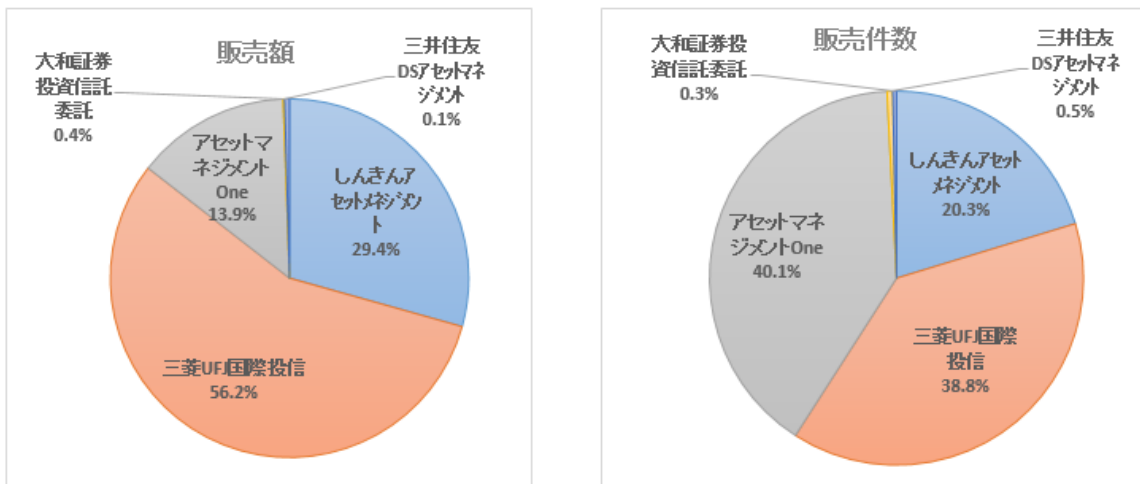
※販売手数料(税込)のうち、その他と合計は加重平均ベース



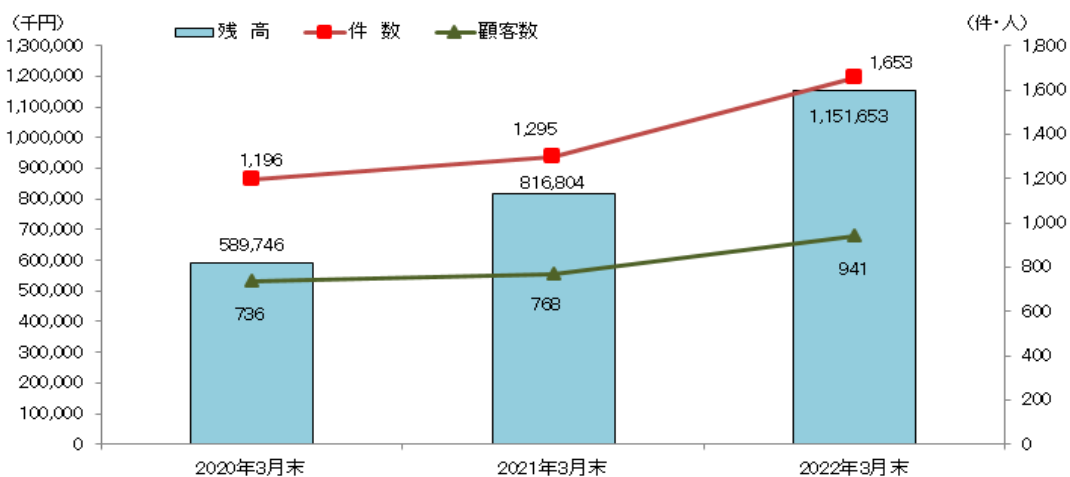
3. 投資信託の毎月分配型の状況 (2021年度実績)



4. 投資信託の運用会社別の状況 (2021年度実績)



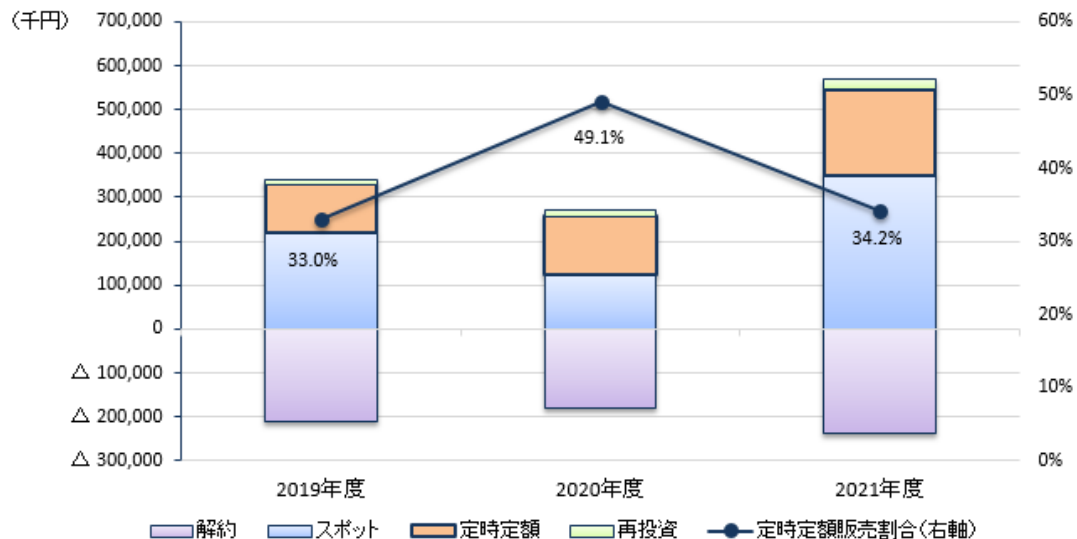
5. 投資信託の残高および件数の推移



(単位: 千円、件・人)

	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末
残高	589,746	816,804	1,151,653
件数	1,196	1,295	1,653
顧客数	736	768	941

6. 投資信託の販売額および解約額の推移

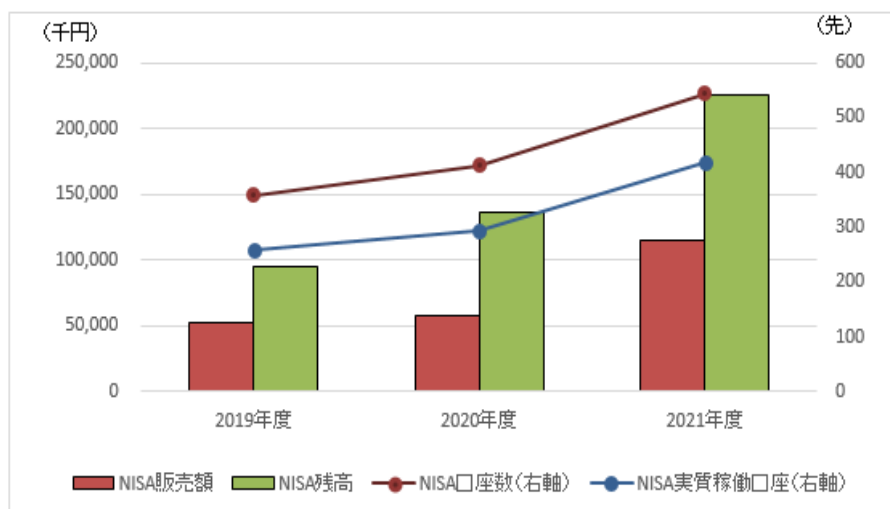


(単位:千円)

	2019年度	2020年度	2021年度
スポット	217,614	122,910	350,867
定時定額	112,222	133,921	195,000
再投資	10,080	15,998	25,045
解約	△ 212,271	△ 179,865	△ 236,781
平均保有年数	2.7年	3.9年	4.2年

※平均保有年数=(前年度末残高+年度末残高)÷2÷年度解約金額

7. NISA の状況



(単位:千円・先)

	2019年度	2020年度	2021年度
NISA販売額	52,860	57,640	114,788
NISA残高	95,002	136,887	225,657
NISA口座数	358	413	543
うち実質稼働口座	258	295	417

8. 保険商品ラインナップ・販売構成比（件数ベース）

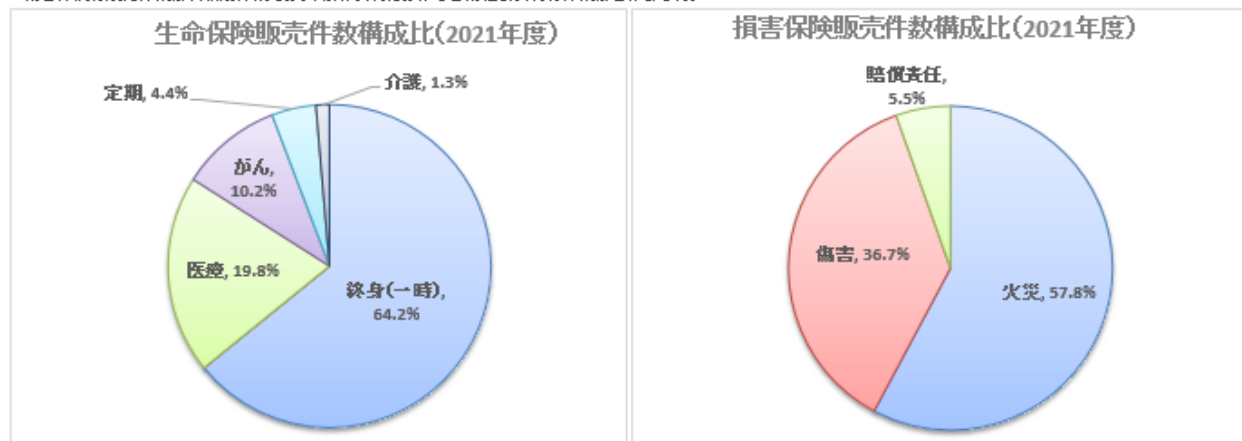
【生命保険】

保険商品	払込方法	取扱商品数	保険会社	2019年度		2020年度		2021年度	
				販売件数	構成比	販売件数	構成比	販売件数	構成比
終身保険	一時払	1	フコクしんらい生命	306	55.1%	201	48.6%	333	64.2%
	平準払	1	SOMPOひまわり	7	1.3%	2	0.5%	0	0.0%
医療保険	平準払	2	アフラック フコクしんらい生命	95	17.1%	104	25.1%	103	19.8%
がん保険	平準払	2	アフラック SOMPOひまわり	74	13.3%	82	19.8%	53	10.2%
定期保険	平準払	1	フコクしんらい生命	72	13.0%	21	5.1%	23	4.4%
所得補償・個人年金保険	平準払	2	アフラック フコクしんらい生命	1	0.2%	4	1.0%	0	0.0%
介護保険	平準払	1	アフラック	0	0.0%	0	0.0%	7	1.3%
〈合計〉		10		555	100%	414	100%	519	100%

【損害保険】

保険商品	取扱商品数	保険会社	2019年度		2020年度		2021年度	
			販売件数	構成比	販売件数	構成比	販売件数	構成比
火災保険	3	共栄火災 損保ジャパン	127	34.5%	127	56.7%	159	57.8%
傷害保険	3	共栄火災 AIG損害 東京海上日動	241	65.5%	89	39.7%	101	36.7%
賠償責任保険	1	三井住友海上	0	0.0%	8	3.6%	15	5.5%
〈合計〉		7	368	100%	224	100%	275	100%

※障害保険の販売件数は親新規件数であり、既存契約における自動継続契約の件数は含まれません。



9. 資格取得状況（2022年3月末現在職員数 265人）

資格	2019年度		2020年度		2021年度	
	人数	取得割合	人数	取得割合	人数	取得割合
生命保険募集人登録者数	229	95.4%	239	94.8%	253	95.5%
証券外務員登録者数	230	95.8%	229	90.9%	251	94.7%
FP3級以上	168	70.0%	169	67.1%	172	64.9%
投資信託3級	77	32.1%	105	41.7%	132	49.8%
職員数	240		252		265	

10. 投資信託・生命保険研修開催数（2021年度）

セミナー・研修	投資信託/iDeCo	生命保険
お客さま	新型コロナウイルス感染防止のため、セミナーは開催を自粛	
職員	6回（個別臨店2回・リモート4回）	4回（個別臨店2回・リモート2回）

●共通KPI（成果指標）

2022年3月時点の状況を公表します。長期的にリスクや手数料等に見合ったリターンの度合いについて可視化し、また投資信託の販売会社間で比較できる指標です。

以下の数値は、あくまで過去の実績であり、将来のリターン、コストおよびリスクをお約束するものではありません。

1. 投信預かり残高上位20銘柄（共通KPI参考資料）

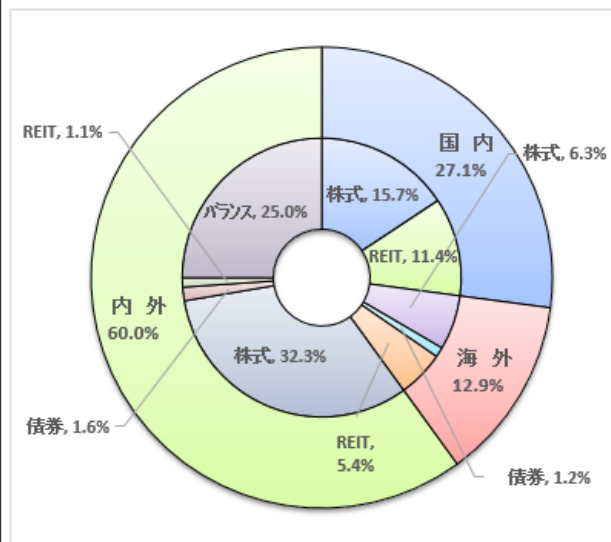
順位	ファンド名	運用会社	残高(千円)	コスト	リスク	リターン
1	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJ国際投信	275,258	3.08%	15.96%	10.14%
2	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信	142,680	0.88%	16.42%	9.11%
3	しんきん世界アロケーションファンド(安定型)	しんきんアセットマネジメント投信	129,910	1.49%	2.61%	-0.85%
4	ワールド・ビューティ・オープン	三菱UFJ国際投信	99,852	2.46%	-	-
5	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信	82,179	1.60%	10.41%	5.77%
6	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信	70,547	1.49%	14.50%	4.59%
7	しんきんJリートオープン(1年決算型)	しんきんアセットマネジメント投信	60,830	1.46%	14.47%	4.78%
8	しんきん世界好配当利回株ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信	44,764	2.09%	21.27%	9.54%
9	たわらノーロードバランス《8資産均等型》	しんきんアセットマネジメント投信	48,865	0.15%	-	-
10	新光US-REITオープン(毎月決算型)	アセットマネジメントOne	33,962	2.23%	16.83%	9.74%
11	新光US-REITオープン(年1回決算型)	アセットマネジメントOne	29,217	2.20%	16.50%	9.74%
12	しんきん世界アロケーションファンド(積極型)	しんきんアセットマネジメント投信	27,527	1.49%	5.51%	1.87%
13	たわらノーロード日経225	アセットマネジメントOne	17,791	0.19%	16.45%	9.86%
14	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際投信	16,963	1.71%	4.11%	2.16%
15	たわらノーロード先進国株式(為替ヘッジなし)	アセットマネジメントOne	16,023	0.11%	17.04%	15.31%
16	しんきん好配当利回株ファンド(3ヵ月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信	14,302	1.32%	15.58%	4.52%
17	DIAM高格付インカム・オープン	アセットマネジメントOne	13,395	1.54%	7.69%	2.80%
18	三井住友・グローバル・リート・オープン(毎月決算型)	三井住友DSアセットマネジメント	8,659	2.41%	19.75%	6.20%
19	たわらノーロード先進国株式(為替ヘッジあり)	アセットマネジメントOne	7,767	0.22%	15.11%	12.03%
20	たわらノーロード新興国株式(為替ヘッジなし)	アセットマネジメントOne	5,680	0.37%	18.53%	6.52%
残高加重平均				1.86%	13.41%	6.92%

※コスト：(販売手数料÷5)+信託報酬(年率)

※リスク、リターンは過去5年間の平均(年率)であるため、組成後5年未満のファンドは「-」表示としています。

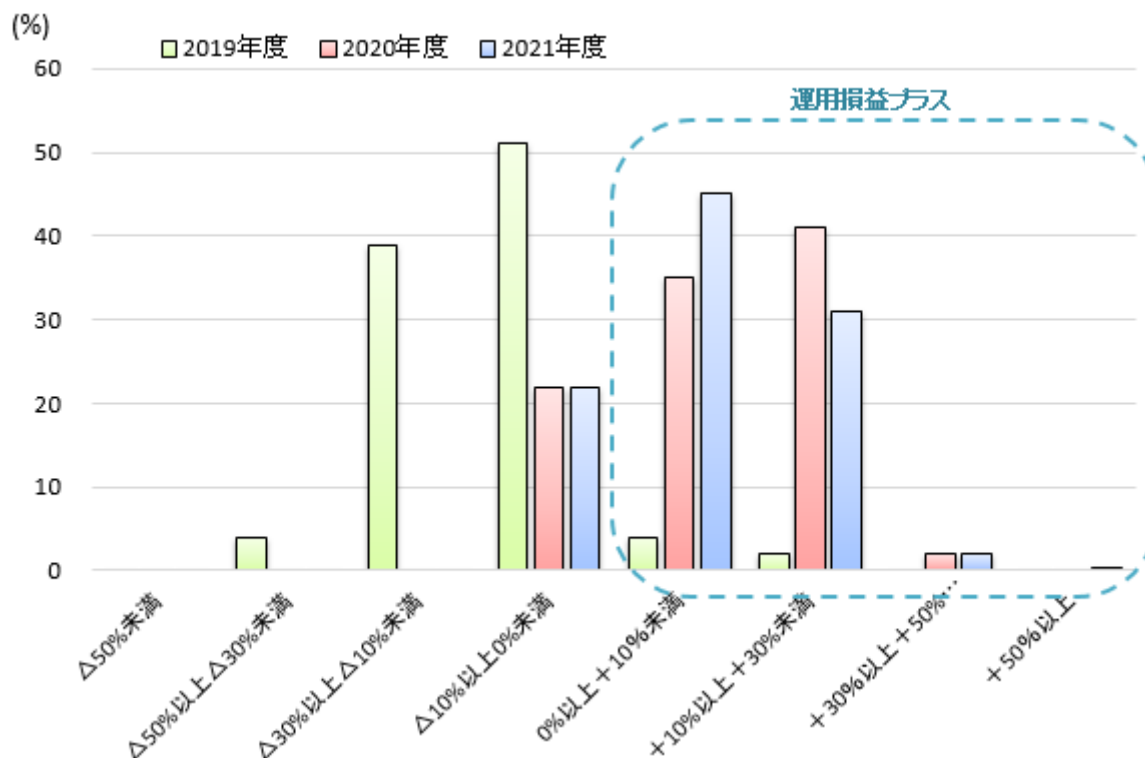
【投資対象資産分類別の状況】（共通KPI参考資料）

投資対象資産分類	残高(千円)	構成比
国内	312,072	27.1%
株式	180,695	15.7%
債券	0	0.0%
REIT	131,377	11.4%
海外	148,680	12.9%
株式	72,988	6.3%
債券	13,334	1.2%
REIT	62,358	5.4%
内外	690,901	60.0%
株式	372,197	32.3%
債券	18,143	1.6%
REIT	12,465	1.1%
複合(バランス)	288,096	25.0%
合計	1,151,653	100.0%
うちノーロード	193,986	16.8%



2. 投資信託の運用損益別顧客比率

2020年3月末時点では『コロナショック』による金融市場混乱の影響で、運用損益がマイナス30%以上のお客さまが増えましたが、その後のマーケットの持ち直しにより、2021年3月末に引続き、2022年3月末時点においても、マイナス10%未満のお客さまが22%、プラスのお客さまが78%と、大幅に改善しております。



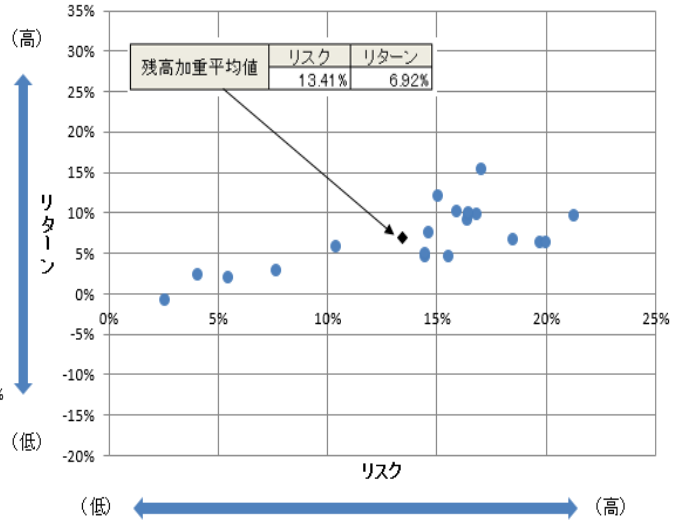
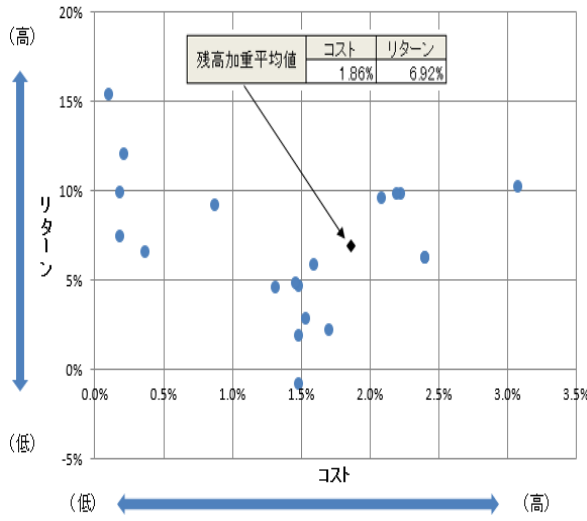
運用損益プラス顧客の状況 (単位:人)

	損益プラス数	投信顧客数	プラス率
2019年度	46	736	6.3%
2020年度	598	768	77.9%
2021年度	736	941	78.2%

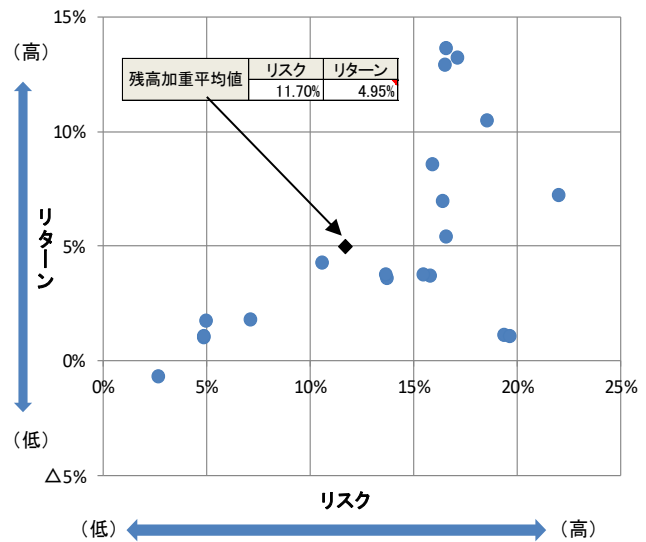
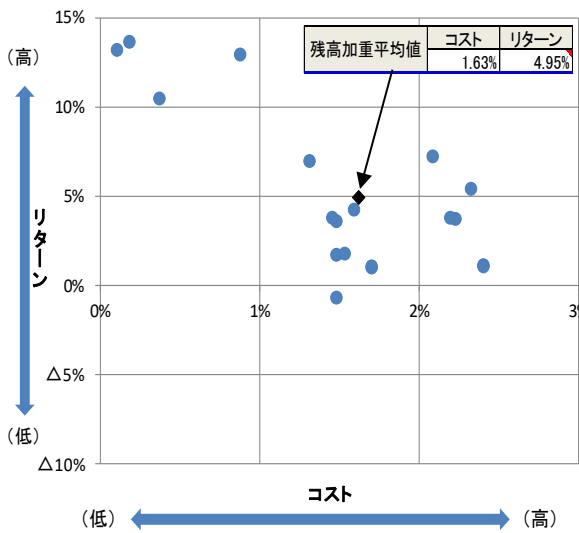
3. 投資信託の預かり残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

※ 2022 年 3 月末時点の投資信託預かり残高上位 20 銘柄を対象に算出。
設定後 5 年未満の銘柄や DC 専用ファンドは除く。

【2021 年度】



【2020 年度】



【2019 年度】

